

日 時	令和5年10月26日(木) 10:00~11:30 第13回経営会議
出席者	平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、市民局長、中区長
欠席者	温暖化対策統括本部長
議 題	1 まちのにぎわい創出に向けた新たなフェスティバルの開催について【にぎわいスポーツ文化局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜芸術アクション事業（DanceDanceDance@YOKOHAMA、横浜音祭り）を創造・転換の視点で見直し、新事業として、まちのにぎわい創出に向けた、新たなフェスティバルを開催する。 <p>【説明要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> 検討状況（事業の転換） 音楽施設の集積や民間事業者の機運の高まり、ポストコロナにおけるライブエンターテインメント市場の拡大など、取り巻く環境の変化がある。 事業の方向性（事業の創造） Music Port YOKOHAMA 委員会との連携強化による、音楽のまちのブランディングを促進するため、そのプロモーションの核となる新たなフェスティバルを開催し、回遊促進の取組と合わせて、まちのにぎわい創出につなげる。 プロモーションの核となるフェスティバルの開催 <ul style="list-style-type: none"> 秋頃にアリーナ、音楽施設に加え、公共空間・オープンスペースを活用し、毎年実施する。 令和6年度は、みなとみらい21地区を中心としたエリアで開催し、令和7年度以降は、臨海部エリアに拡大を検討する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来街者の回遊促進や街中での消費促進に繋がられるような仕組みづくりを進めること。 公民連携について、お互いの強み、行政としての役割を整理し、市費負担を最小限に抑え、経済効果が最大限得られるよう戦略的に取組を進めること。 6年度の開催エリアがみなとみらい地区となっているが、来街者の回遊に繋げることを考えると、令和7年度以降は、周辺の商店街等の立地状況も踏まえてエリアの拡大範囲を検討すべき。 <p>【結論】</p> <p><u>主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。</u></p>